

電子情報産業の世界生産見通し講演会 実施報告

～データセンターの動向を内外に向け積極アピール～

生成AIの普及により世界的なデータ処理量が急増し、データセンター（DC）は社会・産業を支える中核基盤として重要性を高めています。AI学習・推論向けにGPU搭載サーバの採用が進んだことで、従来型DCでは対応しきれない電力・冷却・通信要件が顕在化し、液冷方式や高帯域ネットワークなどインフラ構造の抜本的再設計が求められています。これに伴い、サーバ、GPU、CDU、SSDなど関連市場も大きく拡大しています。こうした変化を踏まえ、調査統計委員会では2025～2030年のデータセンター市場および関連電子部品の需要見通しを取りまとめました。調査結果については2025年末の漆間JEITA会長記者会見にて広く内外に発信すると共に、講演会を企画し、政府の取り組み紹介などを通じて、重要性の理解に向け、積極的なアピールを行いましたので、その一部をご紹介します。



講演会会場の様子（JEITA会議室）

電子情報産業の世界生産見通し講演会

2026年1月23日（金）、電子情報産業の世界生産見通しに関する講演会を開催しました。今回は、電子情報産業の主要分野における市場動向やデータセンターに関心をお持ちの方々に多数ご参加いただき、参加者総数は246名となりました。また、我が国を代表する統計機関や経済見通しを検討する政府機関、関連団体など、多方面からの参加も多数得られ、当業界の市場規模および今後の方向性を発信する絶好の機会となりました。

特別講演1

政策動向として「データセンターの動向と関連施策について」と題し、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長 兼 AI産業戦略室長 渡辺琢也氏よりご講演いただきました。渡辺氏からは、生成AIの普及に伴うデータセンター需要拡大を踏まえ、電力と通信を統合的に最適化するワットビット連携、地方分散化や再エネ活用、次世代冷却・光電融合技術の導入など政府施策の方向性について解説いただきました。



講演中の渡辺氏
～データセンターの動向と関連施策について～

特別講演2

「社会を担うデータセンター時代の経営と戦略～さくらインターネットの挑戦と展望～」と題し、さくらイン

ターネット株式会社 代表取締役社長 田中邦裕氏よりご講演いただきました。田中氏からは、データセンターの現状とその役割の転換、さくらインターネットの経営戦略と実践について解説いただきました。



講演中の田中氏
～社会を担うデータセンター時代の経営と戦略～

電子情報産業の動向

世界生産見通しについては、調査統計委員会の小峰彦委員長より報告いたしました。2025年の電子情報産業の世界生産額は、世界的なデータセンター需要の拡大や生成AIの普及を背景に、半導体、電子部品、ソリューションサービスが軒並み好調で、前年比11%増の4兆1千億ドルと、初めて4兆ドルを突破する見込みです。

2026年は、生成AI、IoT、自動運転、スマートファクトリーなど先端技術のさらなる普及、高性能サーバ・ストレージとそれらを支える半導体の伸長を背景に、前年比10%増の4兆5千億ドルと、過去最高を更新する見通しです。品目別では、2025年・2026年ともに半導体、電子部品、サーバ・ストレージ、ソリューションサービスが過去最高を更新するなど、AI・データ駆動型社会への構造転換が鮮明になっています。

注目分野に関する動向

注目分野に関する動向調査結果については、調査を担当した株式会社富士キメラ総研 羽賀史人氏より報告いたしました。データセンター関連市場は、2025年の8.5億ドルからクラウド需要やAI向けGPUサーバの拡大を背景に急成長し、2030年にはサービス市場が世界で1.7兆ドル、関連製品市場は1.9兆ドルに達する見通しです。日本でもデジタル化とAI活用の進展により需要が拡大します。一方で電力確保が大きな課題となっており、データと電力の確保が国家競争力を左右する重要要素となっています。

世界生産見通しおよび注目分野に関する動向調査 概要

調査統計委員会では、2006年より、電子情報産業の世界生産見通しを取り纏め、出版物として発行するとともに、講演会を実施してきております。また、2015年からは、電子情報産業の世界生産見通しに加え、年毎注目されている分野にフォーカスをあて、見通し調査も実施しています。

<電子情報産業を代表する主な品目>

薄型テレビ、映像記録再生機器、撮像機器、カーAVC機器、携帯電話、サーバ・ストレージ、パソコン、プリンター、イメージスキャナ/OCR、電子タブレット端末、電気計測器、医用電子機器、電子部品、ディスプレイデバイス、半導体、ソリューションサービスなど。

今回の登壇者



開会の挨拶
JEITA専務理事
長尾 尚人



世界生産見通し（赤本全体）概要報告
調査統計委員会
小峰 将彦委員長
三菱電機株式会社



ソリューション・サービスの動向
ソリューション・サービス事業委員会
小堀 賢司副委員長
日本電気株式会社



半導体の動向
半導体統括委員会
近森 謙志郎委員長
ローム株式会社



電子部品の動向
電子部品部会調査統計委員会
阪田 純委員
株式会社村田製作所



データセンターの動向
羽賀 史人氏
株式会社富士キメラ総研



【特別講演】AI社会を担う
データセンター時代の経営と戦略
さくらインターネット株式会社
代表取締役社長
田中 邦裕氏



【特別講演】デジタル産業のビジョン
経済産業省 商務情報政策局
情報技術利用促進課長 兼
AI 産業戦略室長
渡辺 琢也氏



司会
調査統計委員会
小川 秀穂副委員長
パナソニックホールディングス株式会社

刊行物のご案内

「電子情報産業の世界生産見通し2025」

- 発行年月:2025年12月
- 価格
 - ・ 冊子版/PDF版
※A4判40ページ
※「注目分野に関する動向調査」冊子付き
会員3,300円、一般6,600円
 - ・ ダウンロード版
※PDF版および過去データ付き
会員16,500円、一般33,000円
 - ・ 詳細版
※研究者向け、各社アンケート集計結果
会員110,000円、一般220,000円



「注目分野に関する動向調査2025」

- 発行年月:2025年12月
- 価格
 - ・ 冊子版/PDF版
※A4判8ページ
会員2,200円、一般3,300円
 - ・ ダウンロード版
※PDF版および掲載データ付き
会員11,000円、一般22,000円



「JEITA 調査統計ガイドブック ～Executive Summary～」

JEITAでは電子情報産業の幅広い製品分野の市場動向をタイムリーに把握するため、さまざまな調査統計事業を実施しています。これらを内外に広く紹介するため、「業界統計」や「分野別市場動向」、「統計分類・市場規模」、「調査統計イベントスケジュール」などを分かりやすくまとめた「JEITA 調査統計ガイドブック～Executive Summary～」を毎年発行しています。



※各詳細はJEITAホームページ「刊行物」にてご確認ください。
<https://www.jeita.or.jp/japanese/public>